

生物多様性戦略の構成（県・市）

①生物多様性たからづか戦略（現行）

1	戦略の策定にあたって
1.1	戦略策定の意義と経緯
1.1.1	戦略策定のねらい
1.1.2	生物多様性とは
1.1.3	生物多様性の重要性
1.1.4	生物多様性の危機
1.1.5	国内外の動向と兵庫県の取り組み
1.1.6	たからづか戦略の位置付け
2	宝塚市の自然環境
2.1	市域の概況
2.1.1	位置
2.1.2	土地利用
2.1.3	標高
2.1.4	流域
2.1.5	地形
2.1.6	表層地質
2.1.7	現存植生
2.1.8	植生自然度
2.1.9	自然環境の保全に係る区域等の指定状況
2.1.10	自然環境資源
2.1.11	山林と林業のかかわり
2.1.12	工業用地
2.1.13	農耕地と農業のかかわり
2.1.14	宅地の状況
2.1.15	環境体験施設など
2.1.16	都市公園
2.1.17	特別緑地保全地区・生産緑地地区の指定
2.1.18	ゴルフ場
2.2	宝塚市の生物多様性
2.2.1	生態系の多様性
2.2.2	種の多様性
2.2.3	遺伝子の多様性
3	取り組みと課題
3.1	生物多様性を保全・再生する取り組み
3.1.1	国及び兵庫県による取り組み
3.1.2	宝塚市による取り組み
3.1.3	NPO、NGOなどの取り組み
3.1.4	企業等の取り組み
3.2	市全域における課題
3.3	地域ごとの評価と課題
3.3.2	評価と課題
4	戦略の理念と目標
4.1	戦略の理念
4.2	宝塚市の生物多様性の将来像
4.3	戦略の目標
4.4	目標を達成するための行動方針
5	戦略の行動計画
5.1	基本施策の方向性
5.1	基本施策の方向性
5.2	具体的な取り組み
5.2.1	生態系の保全・再生
5.2.2	まちの中に自然を再生
5.2.3	生態系ネットワークの形成促進
5.2.4	野生生物の保護管理
5.2.5	生物多様性の恩恵利用
5.2.6	生物多様性の普及啓発
5.2.7	生物多様性の教育推進
5.2.8	生物多様性を育む体制づくり
5.3	重点的に実施する施策
6	戦略の効果的推進
6.1	戦略の推進
6.1.1	庁内の連携と窓口機能の強化
6.1.2	近隣自治体との連携
6.1.3	研究機関との連携
6.1.4	NPO、NGO等の民間活動団体、地域コミュニティとの連携
6.1.5	企業等の事業者との連携
6.1.6	活動拠点の整備
6.2	進行管理
6.2.1	多様な主体の協働による進行管理
6.2.2	戦略行動計画の見直し
6.2.3	進行管理及び評価

（改定案）

1	戦略の基本的事項
1.1	戦略策定の目的等
1.1.1	戦略の目的
1.1.2	戦略改定の趣旨
1.2	戦略策定の背景
1.2.1	生物多様性とは
1.2.2	生物多様性のめぐみ
1.2.3	生物多様性の危機
1.2.4	国内外の動向
1.3	戦略の位置付け等
1.3.1	戦略の位置付け
1.3.2	対象地域
1.3.3	目標年次
2	生物多様性の現状と課題
2.1	市域の概況
2.1.1	地勢・地質
2.1.2	気象
2.1.3	土地利用
2.1.4	植生
2.1.5	自然環境保全に係る区域等の指定状況
2.1.6	自然環境資源
2.2	宝塚市の生物多様性の現状と課題
2.2.1	宝塚市の生物多様性の特徴
2.2.2	市域における取組
2.2.3	市域における課題
2.2.4	地域ごとの課題
3	戦略の理念と目標
3.1	戦略の理念
3.2	宝塚市の生物多様性の将来像
3.3	戦略の目標
4	戦略の行動計画
4.1	基本施策
4.2	具体施策
4.2.1	生態系の保全・再生
4.2.2	まちの中に自然を再生
4.2.3	生態系ネットワークの形成促進
4.2.4	野生生物の保護管理
4.2.5	生物多様性の恩恵利用
4.2.6	生物多様性の普及啓発
4.2.7	生物多様性の教育推進
4.2.8	生物多様性を育む体制づくり
5	戦略の推進体制
5.1	推進体制
5.2	進行管理

②ひょうご生物多様性戦略（改定案）

第1章はじめに
1 趣旨
2 戦略の位置づけ
3 戦略の期間
4 国内外の動向
第2章兵庫における生物多様性
1 兵庫の豊かな自然環境
2 生物多様性とは
3 生物多様性がもたらす恵み
4 兵庫県版レッドリストにみる生物多様性の現況
第3章生物多様性を取り巻く4つの危機
1 第1の危機「開発など人間の活動による危機」
（1）貴重な動植物や生息生育地の減少
（2）瀬戸内海の沿岸域環境の変化
2 第2の危機「自然に対する働きかけの縮小による危機」
（1）野生鳥獣被害の深刻化
（2）森林・里地里山などの多面的機能低下のおそれ
（3）生物多様性保全に関わる人材の不足
3 第3の危機「人間の活動によって持ち込まれたものによる危機」
（1）侵略的な外来生物の侵入
（2）化学物質による生態系の攪乱
4 第4の危機「気候変動など地球環境の変化による危機」
（1）気候変動による動植物の絶滅リスクの増大及び海洋への悪影響
（2）風水害被害の増大
第4章基本戦略及び行動目標
1 戦略の理念
2 めざす姿
3 基本戦略の設定
4 基本戦略に基づく行動計画及び推進施策
基本戦略1 豊かな自然環境の適切な保全
行動目標1 30by30の推進
行動目標2 侵略的外来種の防除
行動目標3 野生鳥獣の適正な保護管理
基本戦略2 自然の恵みを活かした地域づくり
行動目標1 里山・里海の再生
行動目標2 生態系を活かした防災・減災の推進
行動目標3 持続可能な農林水産業の推進
基本戦略3 豊かな自然を未来へつなぐ仕組みづくり
行動目標1 生物多様性の理解促進
行動目標2 生物多様性を支える人材育成の推進
行動目標3 多様な主体が支える基盤の充実
第5章戦略の効果的推進
1 各主体に期待される役割と連携
2 指標
資料編
1 補足資料（用語解説、参考データなど）
2 策定までの経過